



京丹後市 市制五周年記念式典を開催  
本市出身の野村克也さんを名誉市民として顕彰

ある ある ある

# 節から芽が出る

京丹後市長 中山 泰



京丹後市長 中山 泰

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成二十二年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年をふり返りますと、総じて産業や経済の大変厳しい状況が続く中で、市民の皆様には市勢の充実・発展にそれぞれご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。また、不祥事などもあり改めてお詫びを申し上げますとともに、本市として産業・雇用・生活を全力で支える予算や各種事業の執行にできる限り努めてきた一年でありました。さ

らに、市制施行五周年の節目を迎え、市民の皆さんとともに今後の新市の発展に向け決意を新たにいたしました。今後とも、産業の再生発展、学校再配置をはじめ多くの課題がありますが、私は、課題が大きければ大きいほど、困難であればあるほど、これを取り越えたときには、その分、可能性や発展はより大きく、より力強いものになっていくと信じています。

よく「節から芽が出る」といわれます。木々が生長する過程で「節」はその生長が滞る時期ですが、同時に、そこから新しい芽が芽吹く場・局であり、また、竹などのように節があるからこそ嵐にさらされてもしなやかに伸びるだけで、折れてはしまわない。このように、節は、大きく強くしなやかに成長を続け、発展をしていくうえでなくてはならないものであります。

私たちの社会は、今、この「節の時節」を迎えているのだと思います。それは、

将来の新しい芽吹きへの糧が蓄えられ、芽吹きの準備が始まっている時期であるのです。それゆえ大切なことは、この節の時期に、どんな糧や養分を節の中に蓄えることができるか、そして、そのための「根つこの力」、根つこから吸い上げ続ける「踏ん張る力」が、私たちに問われているのだと思います。

冬、落葉の木々は、厳寒の中でも、気づかないうちに静かに土中でその根をどっしりと張り巡らせています。そして、次第に渾身に力を蓄え、時を得て、鮮やかに芽吹き、開葉を始めます。私たちも、春に備える冬の木々のように、この時期を大切に、しっかりと根を張りめぐらせたい。

そしてとても大切に思いますのは、「ある ある ある」の心。明治から昭和の時代を生きた女性、中村久子さんは、小児期に両手両足をなくされる境遇の中にあつて「ある ある ある みんなある」とある方を見つめ、輝か

しく生涯をおくられて、ヘレン・ケラー女史から尊く賞賛されたことでもよく知られていますが、もちろん境涯は比べようありませんが、今、総じて厳しい社会状況の中にあつても、ない、ないとないう方ではなく、できる限り、ある、ある、ある、とある方を見つめ、そして、喜びや可能性を再発見していくことが大事に思います。厳しい中でも、喜びのタネや繁栄へのチャンスは日常のあらゆる中に隠れています。「ありがとう」「おかげさま」の心、「さえさえあう、たすけあう、与えあう」心が広がり、本市の大きな未来の可能性の開拓と発展へのまちづくりを、市民の皆様とともに全力で進めてまいりたいと思えます。

新しい年が市民の皆様にとりましますます喜びの多い豊かな年でありますことを心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

# 明日の京都づくりは「人づくり」から

京都府知事 山田 啓二



京都府知事 山田 啓二

府民の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、厳しい経済環境と急速な雇用情勢の悪化が続き、年が明けた今も府内の雇用・経済情勢は依然として大変厳しい状況にあります。

このように冷え込んでいる府内の雇用・経済や生活を少しでも回復に導き

たいとの思いで、京都府では平成二十一年度予算を「京都温め予算」と位置付け、当初予算から補正予算を通じ、積極的に生活弱者対策や雇用経済対策に取り組んでまいりました。今年もまず、府民の皆様の「雇用」と「生活」を支えるため、京都を温める対策に全力で取り組んでまいります。

このような対策を進めるに当たり、私は、これらが単なる一過性の対策に陥らないよう、「京都未来を担う人づくり推進事業」や「地域公共人材養成事業」を新たに立ち上げるなど、未来を見据えた「人づくり」対策を積極的に講じてまいりました。

「人」こそ京都の最大の財産であります。昨年開催いたしました「京都知恵と力の博覧会」では、八百を超える事業の参加をいただき、多くの方々

に京都の底力を見ていただくことができました。こうした京都の「人」が持つ知恵と力を未来に向けてさらに高め、世界に発信していくためにも、「人づくり」が基本になると考えます。

最近、「地域主権」という言葉をよく耳にしますが、地域主権を実現するのも「人」であり、住民自治であります。私は、三年前に「地域力再生プロジェクト」を開始しましたが、この地域力もまさに住民の力にあります。今、地域の皆様が地域のために自ら行動を起こし、それを京都府が支え、さらに他の地域の活動と交流・連携することで新たな活動の輪が確実に広がっています。

昨年はさらに、府民の皆様から身近な安心安全のための改善箇所を提案いただく「府民公募型安心・安全整備事

業」を全国で初めて実施し、二千件を超える応募をいただきました。地域の安心安全を自らの目で見直していただき、ご提案いただきましたことに感謝申し上げますとともに、これらの取り組みを通じて、地域が自ら動き、支え合ういわば「共立」の芽が生まれていることを感じています。

京都が世界に誇る「日本文化」や「環境との共生」を礎に、私は、府民の皆様への生活を支え、「知恵と力」を共に高め合う府政によって、明日の京都を創っていくことができるものと信じております。今年も、府民の皆様が府政への積極的な参加を心からお祈り申し上げます。

結びに当たり、この一年の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

もくじ

**年頭あいさつ**  
 ・市長 年頭のごあいさつ ..... 2  
 ・京都府知事 年頭のごあいさつ ..... 3

**名誉市民顕彰**  
 ・野村克也さんを名誉市民として顕彰 ..... 5

**市制五周年記念式典**  
 ・さらなる飛躍と発展に向け 市制五周年記念式典を開催 ..... 6

**地域振興**  
 ・京丹後市水と緑の里づくり支援員を配置 ..... 12

**スポーツ**  
 ・アジアユース選手権大会ウエイトリフティング出場 本田大智君 ..... 13

**表彰** ..... 14

**まちづくり**  
 ・職員以外の第三者による行政評価を実施 ..... 15  
 ・第一次京丹後市総合計画の改定に向け審議会から答申 ..... 15  
 ・光インターネット、ケーブルテレビの利用が可能に ..... 16  
 ・京丹後市防犯委員会発足 ..... 16  
 ・水源を守る森づくり運動 ..... 17  
 ・除雪機を地域に貸し出して安全な市民生活を確保 ..... 17

**福祉**  
 ・京丹後市子ども未来まちづくり審議会から答申 ..... 18  
 ・ほっとはあと製品展開催 ..... 18  
 ・高齢者虐待防止ネットワーク会議発足 ..... 19  
 ・徘徊捜索模擬訓練を実施 ..... 19

**健康大長寿**  
 ・第2回健康大長寿のさとづくり全国大会を開催 ..... 20

**健康づくり**  
 ・健康づくり講演 ..... 22

**10大ニュース**  
 ・あなたが選ぶ「2009京丹後市10大ニュース」 ..... 23

**公共交通**  
 ・上限200円バス 3年間の成果 ..... 24

**京都府のひろば** ..... 25

**まちの情報**  
 ・久美浜湾一周駅伝競走大会開催 ..... 26  
 ・地域活性化と人材育成に向け、企業と高等学校が連携 ..... 26  
 ・人権市民のつどい2009開催 ..... 27  
 ・京都府丹後文化会館からのお知らせ ..... 27

**市職員倫理条例**  
 ・市職員と仕事上の利害関係者間のルール制定 ..... 28

**誌上経営セミナー**  
 ・事業者のみなさんを支援します ..... 29

**消防の広場**  
 ・あなたを守る架け橋「119」 ..... 30

**ご意見箱** ..... 32

**下水道** ..... 34

**市立図書館** ..... 35

# 野村克也さんを 名誉市民として顕彰

市制五周年  
記念式典

京丹後市の市制施行五周年を記念して開催しました同式典（11月21日）において、本市出身の野村克也さんを、その多大なるご功績を讃え「京丹後市名誉市民」として顕彰。野村さんにお越しいただき、顕彰状および名誉市民章を贈呈いたしました。  
※同式典は、次ページ以降で紹介しています。

野村克也さんは、京丹後市（網野町）の出身で、峰山高等学校から南海ホークスへ入団、以来、現役時代には球界屈指の強打者として、数々の輝かしい成績、幾多のすばらしい記録を残されています。また、現役を引退されてからも、監督・指導者としてたいへん傑出された活躍をされ、平成二十一年四月には、新たに

監督通算千五百勝の偉業も達成。選手として、また監督としても野球史に永く輝くご功績を挙げられています。

また、野球界の発展のみならず、社会文化の振興・発展に大きく寄与された卓越したご功績は、郷土のたいなる誇りです。（平成二年には、旧網野町の町民栄誉賞を受賞されています）



名誉市民顕彰を受け、市民のみなさんにメッセージ。会場からは大きな拍手が贈られました。

《略歴》  
 昭和10年 生まれ（網野町）  
 昭和29年 峰山高等学校から南海ホークスへ入団  
 昭和53年 ロッテオリオンズへ移籍  
 昭和54年 西武ライオンズへ移籍  
 昭和55年 現役引退  
 平成2年～平成10年 ヤクルトスワローズ監督  
 平成11年～平成13年 阪神タイガース監督  
 平成18年～平成21年 東北楽天ゴールデンイーグルス監督

## 野村克也さんからのお言葉

久しぶりに帰ってまいりました。ありがとうございます。ふさわしくない表彰だと受け止めております。先ほど、両親の墓へ参ってきました。こんな身に余る章をいただくために、今日、帰ってきたよと線香を上げて報告して、ここへ参りました。

峰山高校を出て早いもので、もう数えてみますと五十四年が過ぎてしまいました。車でですけど網野町、峰山町を走ってまいりました。五十年前とは本当に変わったなと、すごい発展だなという事で街並みを見学しながらここへまいりました。

当然といえば当然ですけど、年々、京丹後市が発展していく姿を遠くから見えておりまして、何ともいえない思いで、私の心には丹後、峰山、網野というものがいつも存在しているわけでありますけれども、この名誉ある章の報告が家の方にはありましたときに、素直に受

けていいのかどうか、本当に迷いました。胸がいっぱいでありまして、本当に悩みましたけれども、素直に受けようと。女房と二人で決心しまして、帰ってまいりました。本当に今日は、ありがとうございます。

私がこうして、今日、プロ野球界に元気で存在できるのも、本当に、基礎は丹後で培ったエネルギーのおかげだと、常にふるさとには感謝しております。住んでいた家も、まったく姿形はありませんけれども、今日も高校時代に住んでいた家の前を通って、本当に感慨無量でした。生涯、私は丹後を忘れることはありません。微力ではありますが京丹後市に恩返しをすることはできませんけれども、何なりと私で役に立つことがありましたら、いつでも参りますから、どうぞ私を使ってください。

今日はありがとうございます。

## 新たな販路拡大を目指し



「恵みの絆」フェアの販売の様子（東京都江東区にある百貨店）

本市が参画している、新たな農業ビジネスモデルの構築などを目指す「次世代農業コンソーシアム」が、十一月二十七日～十二月十三日の期間、地域特性や環境負荷への配慮などが表現された農産物（セミ・プレミアム農産物）をテスト販売する「恵みの絆」フェアを東京などの百貨店を中心に開催しました。

同フェアは、新たなビジネスモデルの構築・産直流通の構築支援などを図るため、企業と自治体・生産者が集まる組織として、(株)日本総合研究所（東京都）が平成二十一年二月に設立された「次世代農業コンソーシアム」により実施されました。

市からは、同フェアに合わせ、地域特性を生かし環境負荷に配慮した農産物として（九条ネギ、ミディトマト、トマト、聖護院大根、ニンジン、サツマイモ、ナシ、ミズナなど）を推薦。百貨店などからおいしさと生産へのこだわりが認められ、セミ・プレミアム農産物として販売されました。今回は「恵みの絆」というブランド名で、新宿、横浜などの大手百貨店などの青果売り場で販売されました。

本市を含め全国から十の自治体、生産者団体が参加されましたが、取り扱われた農産物の四割が本市のもので、本市の農産物の品質の高さが認められています。

市では、今回のテスト販売での実績を基に、新たな販路拡大などについて検討していきます。

本市の農産物が注目されています！

## セミ・プレミアム農産物「恵みの絆」フェア

東京・横浜で開催

# 写真で見る市制五周年記念式典 (2部)

多くの市民のみなさんなどにご出演いただいた市制五周年記念式典の2部の様子を、写真でご紹介します。



▲飛龍天衆の力強い和太鼓演奏



▲テノール独唱 松本晃さん



▲京丹後市児童唱団のみなさんが合唱



▲丹後吹奏楽団による演奏



▲電子オルガンの演奏にのせ、映像で京丹後市を紹介



フィナーレは出演者と会場のみなさん全員で、市の歌を合唱▲▼



丹後建国1,300年をPR



## 祝 京丹後市 市制五周年記念式典



# 市のさらなる飛躍と発展に向け 市制五周年記念式典を開催

平成十六年四月に京丹後市が発足してから五周年を迎え、本市が歩んできたこの五年間を振り返るとともに、さらなる発展・飛躍に向けて将来を展望する記念の年と位置づけ、「京丹後市 市制五周年記念式典」を十一月二十一日、京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)で開催しました。

式典は、山田啓二京都府知事代理の小石原範京都府副知事をはじめ、国会議員や府議会議員のみなさん、府関係者や市議会議員、市内各団体や区長のみなさんなど、約七百人の参加により、二部構成で執り行いました。

**顕彰・各種表彰や市の花・木・歌を発表**

一部では、中山京丹後市長が「本市発展の礎を積み重ねてこれしたのも、国、京都府、近隣の市や町はじめ、関係機関のみなさんの格別のご指導、そして何より市民の皆様のためなるご尽力のたまものであり、すべての市民の皆様深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。市民の皆様とともに本市の大きな未来の可能性と発展への道を



約700人のみなさんが参加 市制五周年を祝いました

力強く開拓してまいりたいと思います」と式辞を述べました。また、京丹後市名誉市民条例(平成十九年三月制定)施行後初めてとなる「京丹後市名誉市民」として、本市網野町出身の野村克也さんに顕彰状および名誉市民章をお贈りしました。

加えて、市政の推進に永きにわたりご貢献いただいていますみなさん

またフィナーレでは、会場のみなさん全員で「京丹後市の歌」を合唱。さらに、丹後の国が誕生してから千三百年の節目を西暦二〇一三年に迎えることから、峰山中学校の生徒のみなさんから「市制五周年を契機に、京丹後市に生まれてきたことを誇りとし、ふるさと京丹後の発展のため、共に歩み続けたい」と決意の言葉が述べられるなど、本市の輝かしい未来を願い、祝賀ムードに包まれました。

さらに市制施行五周年を記念して制定しようと、平成二十年度から検討を進めてきた市のシンボルとなる「花」、「木」、「歌」の発表も行いました。

**多くの市民のみなさんによる「記念ステージ」開催**

一部では、京丹後市の四季折々の映像とともに、市内各種団体の舞台発表による「記念ステージ」を開催しました。京丹後市出身またはゆかりのある音楽家のみなさんが、和太鼓演奏やテノール独唱、吹奏楽演奏、「京丹後市の歌」の合唱を披露。会場を魅了しました。

※式典の様子は、市のホームページから動画でご覧いただけます。(http://www.city.kyotango.kyoto.jp/)

功績者表彰を  
受賞されたみなさん <敬称略>

地域自治の振興

- 幾田 章宏 区長 (網野町網野)
- 岡本喜多男 区長 (丹後町畑)
- 坪倉 康弘 区長 (網野町仲禅寺)

交通安全の推進

- 岡村 福美 交通安全指導員 (網野町網野)
- 河口 三藏 交通安全指導員 (網野町浜詰)
- 澤井 繁男 交通安全指導員 (峰山町鱒留)
- 田中 幸男 交通安全指導員 (峰山町吉原)
- 中辻恵美子 交通安全指導員 (大宮町口大野)
- 橋本 洋子 交通安全指導員 (峰山町丹波)
- 廣野 英子 交通安全指導員 (大宮町明田)
- 矢野 世嗣 交通安全指導員 (大宮町延利)
- 山中 春夫 交通安全指導員 (丹後町三宅)
- 吉岡 晴野 交通安全指導員 (大宮町奥大野)
- 吉岡 幸男 交通安全指導員 (網野町木津)

漁業の振興

- 和田 市郎 漁業関係団体役員 (久美浜町湊宮)

産業の振興

- 井上 博嗣 商工関係団体役員 (網野町島津)
- 沖田 康彦 商工関係団体役員 (網野町浜詰)
- 田中 隆司 商工関係団体役員 (峰山町五箇)

観光の振興

- 板垣 久彌 観光関係団体役員 (久美浜町湊宮)
- 田中市郎右工門 観光関係団体役員 (久美浜町)
- 松梨 秀昭 観光関係団体役員 (弥栄町鳥取)

保健衛生の推進

- 上田 誠 学校医 (網野町網野)
- 瀬古 敬 学校医 (網野町小浜)
- 井上 尚也 学校歯科医 (網野町網野)
- 梅田 浩 学校歯科医 (網野町網野)
- 中村 靖 学校歯科医 (久美浜町)
- 沼倉 洋三 学校歯科医 (久美浜町)
- 行待 康夫 学校歯科医 (弥栄町溝谷)
- 糸井 恵子 学校薬剤師 (峰山町呉服)
- 柴田 昕子 学校薬剤師 (網野町網野)
- 新免 浩昭 学校薬剤師 (久美浜町)
- 野村 一民 学校薬剤師 (久美浜町)

文化の振興

- 久保 幸司 文化関係団体役員 (網野町網野)
- 田中 信 文化関係団体役員 (久美浜町河梨)
- 森 悟 文化関係団体役員 (網野町網野)

スポーツの振興

- 小石原正志 体育関係団体役員 (網野町網野)
- 吉岡 治 高等学校教諭 (網野町浅茂川)

善行者表彰を  
受賞されたみなさん <敬称略>

環境美化

- 岡田 康二 (大宮町三坂)
- 小森登美江 (丹後町間人)
- 吉岡 常雄 (大宮町周枳)

自治功労者表彰を  
受賞されたみなさん <敬称略>



谷口 正博  
議会議員として貢献  
(久美浜町坂井)



大下倉 禎介  
議会議員として貢献  
(弥栄町和田野)



川村 博茂  
議会議員として貢献  
(大宮町周枳)



井谷 實夫  
議会議員として貢献  
(網野町木津)



松田 成溪  
議会議員として貢献  
(久美浜町友重)



松尾 信介  
議会議員として貢献  
(網野町掛津)



大同 衛  
議会議員として貢献  
(大宮町奥大野)



田茂井 誠司郎  
議会議員として貢献  
(網野町小浜)



吉岡 一男  
固定資産評価審査委員会  
委員として貢献  
(大宮町周枳)



西村 恒彦  
大宮町収入役として貢献  
(大宮町口大野)



吉浪 芳郎  
議会議員として貢献  
(峰山町新町)



吉岡 豊和  
議会議員として貢献  
(弥栄町木橋)



中嶋 昇  
農業委員会委員として貢献  
(久美浜町)



城下 佳郎  
農業委員会委員として貢献  
(網野町島津)



植次 義範  
農業委員会委員として貢献  
(網野町木津)



安達 睦夫  
農業委員会委員として貢献  
(久美浜町出角)



尾畑 興市  
体育指導委員として貢献  
(峰山町五箇)



美王 恵次郎  
教育委員会委員として貢献  
(久美浜町)



松村 統克  
農業委員会委員として貢献  
(大宮町周枳)

功績ごとに五十音順で  
掲載しています。

# 京丹後市の歌

作詞/梅田俊作  
作曲/藤原哲也

♩=116 *mf*

F F/E Dm7 Dm7/C B♭ Gm C7 V

うみあお みどり はんとう かぜ  
うさぎ すんに あずさし おみんえ のとの  
くもらき りまにし のはんと うかぜ そよぐ めはせあ  
みくそれき りまにし のはんと うかぜ そよぐ めはせあ

F F/E Dm7 Dm7/C Gm C7 F V

ぐるり くるる きせ つの なか - に いだ か れ て え が  
るだ いた ら な こ し き き ぬ た の な み ち - と る な て み つ ら づ け に う ら の  
た だ ら こ し き つ お こ - く ま も - へ つ づ く み ち て を

B♭ Gm Am D7 G7 cresc. Cus4 C7

く ゆめ い ろ あ ざ や か に い つ ま し て も て  
に ぶ し り ぬ か る む だ り ち の ふ た み し て め ば こ  
つ な ご な め の お も い が ら たら ば こん

F Am7/E Dm B♭ C7 F V

ふ る さ と い ろ き み げ ん し ょ く  
あ る い と て い ろ は き み の - げ ん し ょ く  
は た る だ か み た ら す いら へ に き ょ う た ん こ の - あ し た へ

8va

# 市の花・木・歌を制定

市の花と木および歌については、市制五周年を記念して制定することとし、平成二十年十月に「京丹後市市の花と木と歌制定委員会」（板垣久彌委員長・十一人）を設置し、検討・協議。同式典で発表しました。

歌については、音楽の分野における専門家のみなさんによる「市の歌検討委員会」を設置。専門的な見地からご提案いただき、制定委員会で作詞者および作曲者を決定していただき制作しました。

また花と木については、市民のみなさんから公募し、「市の花と木検討委員会」（糸井昭座長・五人）を設置して専門的な見地から複数の候補を選定。市のイメージを発信し、郷土愛の高揚や市全体の一体感の醸成を図り、市の発展につなげる事ができるものとして、花はトウテイラン、木はブナを選定しました。

## 市の歌 京丹後市の魅力あふれる歌を制定

歌の制作については、未来を担う子どもたちが、ふるさどに対して興味や関心を持ち、ふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民のみなさんに永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、活き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望がもてる歌となるように、京丹後市の魅力が盛り込まれたすばらしい歌となりました。（楽譜・歌詞は、次ページで紹介）



作詞  
梅田俊作さん  
網野町出身・徳島県美波町在住で、画家・絵本作家。絵本「しらんぷり」で97年日本絵本大賞を受賞。「ばあちゃんのなつやすみ」で第3回絵本にっぽん賞を受賞されるなど、多くの作品を出版。



作曲  
藤原哲也さん  
京都市出身で現在、大宮中学校教諭。丹後吹奏楽団音楽監督や指揮者、コーラスグループ、児童合唱団を指導されるなど、地域の音楽活動にも献身的に活躍。

## 市の木 ブナ



ブナは温帯林を代表する落葉広葉樹で、雪にもめげず、春にはほかの落葉樹に先駆けて芽吹きはじめます。京丹後市には山・里・海が一つのまちの中で連続しているという特徴がみられます。豊かな森が育む栄養分は、川を伝って田畑へと運ばれおいしい農作物を、さらに日本海へと注ぐことで魚介類などの豊富な海の恵みをもたらしてくれるなど、ブナ林はまさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルといえます。

## 市の花 トウテイラン



トウテイランは、8月～9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草。山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘（久美浜町）の群落は「京都の自然200選」にも選定されています。盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、さらに日本国内でもいくつかの地域でしか自生していない非常に貴重な花であり、京丹後市のシンボルとしてふさわしい花といえます。

うみあお みどり はんとう かぜ  
一、海青く 緑の半島 風そよぐ

めぐりくる 季節のなかに いだかれて  
えが ゆめ いろあざ  
描く夢 色鮮やかに いつまでも

ふるさと色は 君の原色

うすずみ くもま ひか うなばら  
二、薄墨の 雲間に光る 海原は

はるかなる 絹の道と 波つづき

うらにし 季節風に ぬかるむ大地 踏みしめて

ある ゆめ みち  
歩いていこう 夢が道しるべ

そら しごせん とき ゆ  
三、さんさんと 天に子午線 時が往く

せだい こ つた まも て て  
世代越え 伝え守る 手から手に

ものづくり ものがたりの 玉手箱

はるか未来へ 君に預け物

れきし たんごじ  
四、いにしえの 歴史をたどる 丹後路は

あたらしき おうこく つづく道

て 手をつなごう みなのおも 羅針盤

ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

# 小規模・高齢化地域の集落運営をサポート 「京丹後市水と緑の里づくり支援員」を新設

## 4人を配置



新たに委嘱された京丹後市水と緑の里づくり支援員のみなさん  
(左から)

- 吉本 宏雄さん 担当地区 丹後町上山
- 松村 文雄さん 担当地区 弥栄町須川、来見谷
- 池谷 紀子さん 担当地区 弥栄町大谷、中山
- 井上 正治さん 担当地区 久美浜町奥山

市では、人口の減少・少子高齢化などにより集落の機能を維持することが困難となりつつある小規模集落の状況を把握し、区長さんと一緒に集落の運営をサポートする「水と緑の里づくり支援員」を公募し、十二月四日、四人のかたを委嘱しました。

### 将来に向けた地域の発展へ

本市では近年、若者の流出、少子化、高齢化などにより著しく自治機能が低下しつつある集落が目立つようになってきていることから、主体的な集落活動を可能とし、さらには、そこに暮らす住民の活力を取り戻す施策

として、「京丹後市水と緑の里づくり支援員」を委嘱することとしました。  
同支援員は、平成二十一年十月に、担当する集落以外に住んで集落の振興に熱意を持ち、集落の運営をサポートしていたただけるかたを公募し四人のかたを選定。十二月四日に、中山市長より委嘱通知書を手渡ししました。委嘱期間は、平成二十二年三月三十一日までです。

### 活動内容

- ▼ 支援員さんの活動内容は、
- ▼ 集落の目配り・巡回およびその状況の把握
- ▼ 非常時・緊急時などにおける関係機関との連絡、援助
- ▼ 集落住民の意見集約
- ▼ 集落での話し合いの促進、将来に向けた集落ビジョンの作成支援など
- ▼ 集落が自主的に行う集落振興施策への協力



情報交換を行う支援員のみなさん

大きくこととしていきます。委嘱通知を受けた支援員のかたからは「支援員として地域との関わりが重要なので、区長さんと一緒に相談しながら活動していきたい。縁のある集落だが、まずは地域の状況や内容を把握したい」と述べられました。委嘱通知を受け取った後、支援員のみなさんと対象集落のある丹後町、弥栄町、久美浜町の各市民局長および市民協働課との打ち合わせでは、市民局への連絡や連携を持っていただくこと、活動業務報告書の提出、活動計画や活動状況などの情報交換会の開催などを了解いただきました。

# アジアユース選手権大会 初出場 ウエイトリフティング50キ級 本田 大智君

(大宮中学校二年生)



本田大智君 (大宮中学校2年生・大宮町奥大野)

市立大宮中学校二年生の本田君が、第十二回アジアユース選手権大会ウエイトリフティング競技(平成二十二年十二月十八日開催・ドバイ首長国)50キ級の日本代表選手として、日本ウエイトリフティング協会から選出され、初の国際大会へと出場されました。

## 全国大会で二連覇

平成二十年に行われた第二十二回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会で、48キ級に出場した本田君は、合計122キを持ち上げた優勝されました。また平成二十一年の同

### ウエイトリフティングの競技

「スナッチ」と「クリーン&ジャーク」の2種目があり、それぞれ3回ずつの試技を行い、各種目の持ち上げた最高の重量の合計(トータル重量)で競います。

アジアカップ大会を間近に控えた十二月八日、大会に向けての心境や、ウエイトリフティングについての思いを本田君にインタビューしました。  
本田君がウエイトリフティングを始めたのは、小学校五年生の時。当時、習っていた空手のトレーニングのために訪れた府立加悦谷高等学校で、同校ウエイトリフティング部の川畑勉顧問の勧めにより、京都府高等学校新人大会(ウエイトリフティング)の前座に参加し優勝したことがきっかけだとい

ます。  
進学した大宮中学校に、ウエイトリフティングに関連するクラブがないため、本校のウエイトリフティング部は、全国・国際レベルの選手を輩出する名門。川畑顧問は「本田君は、どんなことにも弱音を吐くことなく、勝つための執着心が高い。メダルも十分狙える力を持っている。今後、日本を代表する選手となる」と本田君の素質を分析。また、「ここで練習ができるのは、大宮中学校やご両親のご理解、ご協力があるため」と話されました。  
最後に本田君へアジアカップ選手権大会に向けての決意を伺うと、「優勝はしたいですが、挑戦者の気持ちで臨み、自己ベストを狙いたい」と意気込みを語ってくれました。

### 挑戦者の気持ちで

め、本田君は同中学校の許可を得て学校外クラブとして放課後は加悦谷高等学校で練習、川畑顧問の指導を受けながら実力をつけてこられました。  
本田君へウエイトリフティングの魅力や思いについて尋ねると「練習により自分の記録が伸びていくところがおもしろい。ウエイトリフティングは、一本一本の試技をていねいに集中して行わないと、とても危ない競技。そのため、日常生活における一つひとつの行動も、ていねいにすることを心がけています」と、常にウエイトリフティングを意識する、競技者としてのこだわりを話してくれました。

### 大宮町三坂区長 岡田幾雄さん（大宮町三坂） 平成二十一年度 地縁による団体功労者 総務大臣表彰を受賞

岡田さんは、昭和六十四年から現在までの二十一年の永きにわたり、大宮町三坂区長として活動され、大きな功績を残されています。三坂区においては、ほかの地域から移り住んでこられるかたも多い中、「暮らしやすい地域社会、地域の活性化のためには、区民が顔を合わせて交流を深めることが大切」とし、新旧区民の多様な意見の集約およびその調整に尽力されてきました。また、一般廃棄物処理施設などの公共施設設置地区の代表者として、さらには地域の防犯防災の最高責任者としても行政と密な連携を図っています。



岡田 幾雄さん

さらに近年には、消防団員の不在時に地域を守るため、消防団員OBを中心とした自主防災組織を結成。毎年、市全域の防災訓練時には区独自の訓練計画を立案し、障害者、高齢者など要支援者避難訓練も実施し、地域社会の安定と生活の向上に大きく貢献するなど、これらの功績が高く評価され受賞されました。

### 選挙管理委員長 小栗徳宗さん（峰山町菅） 選挙制度百二十年記念選挙関係功労者表彰 総務大臣感謝状を受賞

小栗さんは、平成四年九月に峰山町選挙管理委員会委員に就任されました。その後、平成八年九月から平成十六年三月までは峰山町選挙管理委員会委員長を、京丹後市発足の平成十六年四月から平成十六年六月までは京丹後市選挙管理委員会委員長職務代理を、そして平成十六年六月から現在までは京丹後市選挙管理委員会委員長を歴任。十七年余にわたり選挙管理委員会委員および委員長として公職選挙法および関係法規の規定を遵守しつつ、選挙の管理執行に際し政治的中立性の確保に努めておられます。



小栗 徳宗さん

選挙が公正に行われ、人々の意思が正しく政治に反映されるよう、研さんを積み見識を深めることはもとより、ほかの選挙管理委員との連絡を図ることでより円滑な委員会運営に尽力。選挙の執行管理に精励され、選挙制度の研究および普及など、民主政治の確立にむけた功績が高く評価され受賞されました。

## 職員以外の行政評価を実施

市が行っているさまざまな施策・事業が効率的かつ効果的に実施されているかどうかを評価し、その評価結果を次の施策・事業に生かすために、市では行政評価制度を導入しています。今回、本市の政策を実現させるための施策について十一月二十五日、「京丹後市行政評価委員会」（窪田好男委員長・五人）から市へ「京丹後市外部評価報告書」をご提出いただきました。

### 外部評価について

行政評価については、京丹後市総合計画に基づく行政運営の施策と事務事業について、市職員による内部評価を実施していますが、さらに、透明性・客観性を担保したより有効な評価とするために、平成十九年十月に市職員以外の第三者による「京丹後市行政評価委員会」を設立し、平成十九年度と平成二十年度に事務事業評価を実施し、今年度は施策についての評価を行いました。

同委員会は、学識経験者や行政経験のある市民のかたで構成され、平成二十一年八月から同年十一月までの間に、計六回の委員会を開催。市の前年度の三十七施策の中から「漁業・海業の振興」、「観光の振興」、「歴史文化遺産の保全と活用」、「住宅の供給と安心できる住環境の整備」の四施策について評価を行いました。

同委員会からご提出いただいた市外部評価報告書では、「現在の施策や事業は、有効性や費用対効果などの観点から見て、おおむね妥当」としたうえで、「施策の目的に対して、その成果・達成度を表す指標の設定が十分でない」とや「まちづくりや市政運営の基本である総合計画と行政評価がより一層連携することを期待する」などのご意見がありました。

市では、同委員会による外部評価結果を真摯に受け止め、必要な検討・改善を進めていくこととしています。



市行政評価委員会から評価についての概要説明（中央・窪田好男委員長、右・辻征一郎副委員長）

## 第一次京丹後市 総合計画の改定に向け 審議会から答申

本市の行政運営の指針となる「第一次総合計画」の改定に向けて、11月19日、京丹後市総合計画審議会（片山茂会長・17人）から答申をいただきました。



京丹後市総合計画審議会から答申（右・片山茂会長）

市では、平成十七年度に策定した第一次総合計画を指針として行政運営を図っています。そのうちの前期基本計画（平成十七年度～平成二十一年度）が今年度末で満了となることと、加えて基本構想の計画期間も半分が経過することから、見直しを行ってきました。この見直しにあたり、有識者および市内各種団体の代表者のみなさんから広く意見を求めるため、平成二十一年八月、同審議会に諮問していました。同審議会では、「基本構想に掲げる定住人口と交流人口の目標」や「社会経済情勢の変化、諸制度の変更および計画の達成度合いを踏まえた基本計画の見直し」などについて議論いただきました。その結果、  
▼基本構想に定める、平成二十六年度における定住人口の七万人を六万人に、交流人口の五百万人を二百五十万人に改める  
▼基本計画は、「施策の達成度を把握するための社会指標の追加」、「バイオマスの活用、百歳健康長寿施策などの追加」、「まちづくり基本条例の施行に伴い、市民参画・市民協働による事業の実施の追加」などの内容の答申をいただきました。市では今後、いただきました答申に沿って、計画の見直しを進めていくこととしています。

**北近畿タンゴ鉄道**

**特急乗り放題 お2人用きっぷ**

**KTR★エクスプレス・ペア**

好評発売中

ご利用開始日

2,500円

お値段/大人 2,500円（大人のみの設定です）

**お得・便利**

**商品内容**

- ★北近畿タンゴ鉄道線内全区間の普通列車・快速列車および特急列車の自由席をご利用いただけます。
- ★購入日から1か月以内に、2人が同時に、1日のみご利用いただけます。（最終ご利用日は平成22年3月31日です）
- ★ご利用当日は、何度でも乗り降りできます。
- ★払い戻しの取り扱いはいたしません。

きっぷ販売員のいるKTR各駅で販売しています。  
お問い合わせ先：北近畿タンゴ鉄道（☎0772-22-8571）

苗木を植える佐藤区長会長



# 山林本来の**力**の再生へ向けて **水源**を守る**森**づくり運動

久美浜一区まちづくり協議会（友松祐也会長）と久美浜一区区長会（佐藤肇区長会長）および久美浜一区自治振興会（磯田保男会長）の三者と地元のかたが、久美浜町引土（ひきつち）地内の山林で11月29日、水源を守る森づくり運動としてシイ・ツバキ・カシを中心とした常緑広葉樹の苗木、630本を植樹されました。



久美浜一区の水源を守り、安心安全なまちづくり、さらには久美浜湾の水質浄化、環境保全などをめざして行われたこの取り組みは、平成十六年の台風二十三号がきっかけで始まり、同協議会の森づくり担当の山田武彦さんは「同台風の影響により同区内で多くの世帯が床上浸水などを経験しました。その原因は、人の手が入らなかった山の保水力が低下しているため」と説明。「山」本来の保水力を取り戻し、これからの世代の人たちを水害から守るため、山への植樹を計画されました。平成十七年から山田さんは一人で、さまざまな種類のドングリ一万三千個を拾い集め、ポット（栽培容器）で育成。平成二十年三月に地域のかたと同山林近くに九百本の苗木を植樹されました。二回目となる今回は、地元のかたから山林七百平方メートルの提供を受け、竹が生い茂った場所の地ごしらえや獣の防護ネットの設置など数日に分けて実施。

最終段階の植樹では、地域の各団体をはじめ地元のかた約三十人が参加され、四年間育てた広葉樹の苗木を一本一本、心を込めて植樹されました。

山田さんは「環境保全の運動が地域に根づいてくれば、地域の輪が広がり活性化にも繋がる。次の世代に引き継いでいきたい」と地域環境を守る取り組みへの意気込みを話されました。

# 京丹後市ブロードバンドネットワーク 光インターネット ケーブルテレビの利用が可能に 加入申込者のお宅へ接続開始

光インターネットやケーブルテレビのサービスをご利用いただける「京丹後市ブロードバンドネットワークサービス」の提供が、平成二十一年十二月一日から開始され、峰山庁舎で接続開始式を開催しました。今後、光ケーブルの引き込み工事が完了したご家庭から順次、サービスの利用が可能となります。

都市部と比べ情報インフラ整備が遅れている本市の現状を解消するため、市では平成十八年三月に策定した「京丹後市地域情報化計画」に基づき、平成十九年度から光ケーブルの幹線工事など、情報通信基盤の整備を行ってき



接続開始を祝しテープカット



ケーブルテレビでは、地上デジタル放送や衛星放送に加え、京丹後市内のイベントや祭、市役所からのお知らせや市議会の中継など、地域の話が幅広いの自主放送もご覧いただけます。

そのような中、平成二十一年十一月中旬からは、「京丹後市ブロードバンドネットワークサービス」にお申し込みをいただいているご家庭への光ケーブルの引き込み工事を開始。平成二十一年十二月の同サービス開始に伴い、引き込み工事が完了しているご家庭から順次、光インターネットやケーブルテレビの利用が可能となります。

# 犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指して 京丹後市防犯委員会 発足

市では、市民のみなさんの生活安全対策を効果的に推進することを目的に、11月26日、京丹後市防犯委員会（森岡無事生会長）を新たに設置。同日、第1回の会議（総会）を開催し、同委員会の活動計画について話し合いました。



総会では、各団体と連携し防犯活動の強化を図ることなどが確認されました

「京丹後市防犯委員会」は、市民のみなさんが安全で安心して生活できるまちづくりを推進することなどを目的に、平成二十二年四月に施行された「京丹後市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」に基づき、京丹後防犯推進委員協議会、市区長連絡協議会、市PTA協議会、市老人クラブ連合会、市女性連絡協議会の代表など五団体三十一人で組織されました。

第一回会議（総会）では、会長に森岡無事生（ぶじお）さん（京丹後防犯推進委員協議会長）、副会長に佐藤肇さん（市区長連絡協議会長）、安井美佐子さん（市女性連絡協議会長）を選出。各委員からは、地域における防犯パトロールの実施や高齢者の犯罪被害対策など、それぞれの団体における防犯活動の報告が行われました。

また、京丹後警察署生活安全課の惣司匡樹（そうつかまさき）課長も参加され、「市民のかたの防犯に対する意識を高めていただくことが最も大切であり、そのためには被害発生の事実を広く住民のみなさんに伝えていくことが大事」と防犯活動に対するアドバイスをいただきました。

同委員会は今後、毎月一回、「市民防犯の日」を設定するなどの具体的な防犯対策の検討を行うとともに、ほかの団体との防犯に関する連絡協議を図り、犯罪のない安全で安心なまちづくりを進めていくこととしています。

## 積雪に備えて… 除雪機を地域に貸し出して 安全な市民生活を確保

安全への祈りをこめて

市では、大型除雪機が入ることのできない狭い市道などの除雪体制を充実させ、市民のみなさんの安全を確保するため、各地域の自治会に小型除雪機を貸し出し、市民のみなさんとの協働による除雪作業の推進を図っています。



除雪機の操作法を学ぶ各地区のみなさん

この取り組みは、冬場雪が降り積もり危険な状態となる路面を早急に除雪し、市民のみなさんに安全な生活を送っていただくことを目的に、狭い市道や高齢者世帯周辺、通学路の除雪の充実を図るもので、平成十七年度から実施しています。

今年度は、乗用型（三下）のホイールローダー（除雪幅一・五メートル）を六台と、歩行型で除雪幅一メートルの自走式除雪機を二台購入。各地区からの貸与希望をもとに総合的に検討し、八地区に貸し出しました。今回の貸し出しで、合計四十五台を四十五地区へ配置できました。

十一月二十四日に市役所網野庁舎駐車場で行った貸与式では、各地区の区長さんや役員のかたをはじめ、関係者約四十人が出席。中山市長が「お子さんの安全・安心のためにも、みなさんのご支援、ご協力をお願いしたい。機械の操作にはよく慣れていただいで、絶対に事故のないよう作業にあたってくださ」と協力を依頼するとともに、除雪機のカギを手渡しました。

まちづくり

まちづくり



幅広い分野との連携を強化します

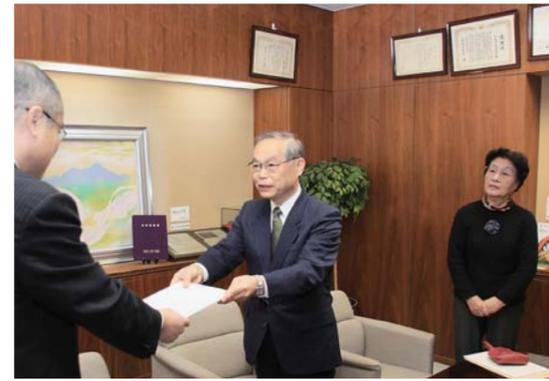
## 高齢者を地域全体で守るために

### 高齢者虐待防止ネットワーク会議 発足

高齢者や要介護者に対する虐待の防止や早期発見、また、虐待を受けているかたへの適切な支援を行うため、市では、民間団体や警察など専門機関を含めた「京丹後市高齢者虐待防止ネットワーク会議」を新たに発足しました。

高齢者や要介護者に対する虐待は全国的に増加傾向にあり、本市においても、平成十九年度には高齢者虐待に関する相談・通報七件のうち四件が、平成二十年度には六件中六件が虐待だと判断されるなど、早急に対策を講じなければならぬ段階にきています。そのような中、市では、高齢者虐待の防止および早期発見、虐待を受けた高齢者および要介護者に対する適切な支援を行うため、各関係機関の協力を得て同会議を設置しました。同会議では、専門分野を含む関係機関との連携協力体制を整備して、事例発生時に相談・協力できる関係をつくり、個々の事例に対し、直接関係する専門機関の担当者で構成するケース検討会議を適宜行うなどして、適切な支援を行えるようにします。十一月二十五日に開かれた設立会議には、京都府丹後保健所、京丹後警察署など九団体十三人が参加。高齢者虐待の現状などが報告され、「このようなケースでは、虐待されている本人からの申告がほとんどない。相談を受ける側が十分に注意して話を聞いたり、周りが気づいて関係機関と連携していく必要がある」などの声があがりました。

虐待に関する相談はこちらまで  
長寿福祉課（☎六九一〇三三〇）



子ども未来まちづくり審議会が市長へ答申書を提出  
(中央・蒲田淳会長、右・矢野千枝子副会長)

## 地域にみんなの笑顔と笑い声があふれる 明るい子育てのまちをめざし

### 京丹後市子ども未来 まちづくり審議会 から 答申

次代を担う子どもと子育て家庭への支援などの目標を定める「京丹後市次世代育成支援対策行動計画」の後期計画（平成二十二年から平成二十六年）について、十二月四日、京丹後市子ども未来まちづくり審議会（蒲田淳会長・十人）から市へ答申をいただきました。

市では、平成十七年三月に「京丹後市次世代育成支援対策行動計画（前期計画）」を策定し、子どもの健やかな成長と子育てを支援するための施策を推進してきました。前期計画は、平成二十一年度で計画期間が満了するため、次代を担う子どもと子育て家庭への支援を総合的・計画的に推進することを目的として、「京丹後市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）」を策定するため、平成二十一年六月、「京丹後市子ども未来まちづくり審議会」に諮問を行いました。同審議会では同年十二月までに、計五回の会議を開催され、ご審議いただきました。答申では、前期計画の理念を引き続き継承し、「地域にみんなの笑顔と笑い声があふれる明るい子育てのまちをめざすこと」や「基本方向、施策目標など、子どもの健やかな成長に必要な環境づくり」など、さまざまなご提言をいただきました。市ではこの答申を受けて、今年度中の後期計画の策定をめざします。

## 市内の授産施設などが 手づくりの製品を紹介

### 京丹後市 ほっとはあと製品展 開催



障害者週間（十二月三日～九日）の取り組みの一環として、市内の障害者授産施設などの授産製品を一堂に集め展示する第三回「京丹後市ほっとはあと製品展」を、十二月二日から四日までの三日間、峰山庁舎りビングホールで開催しました。同製品展は、温かな作品の数々を広く市民のみなさんにご紹介することにより、障害福祉に対する関心と理解を深めていただくとともに、障害のあるかたの社会参加・活動や授産作業などの意欲を高めていただくことを目的に平成十九年から開催。三回目となる今回は、市内の八つの作業所などで作られた、陶芸品や手さげバッグ、クッキーやせんべい

など心のこもった製品約三百点が所狭しと並べられました。十二月二日に行われた開催記念セレモニーには、福祉関係のかた約五十人が参加。中山市長が「このような催しをおして、障害のあるなしに関わらず互いに支え合い助け合っていくまちづくりが地域に根づいていくきっかけになる。どの製品もみなさんが一生懸命つくられたものばかりで、それぞれの中に込められた心の輝きのようなものが伝わってくるものばかりだと思います」とあいさつしました。また、同月七日～九日には、同ホールで「京丹後市障害者団体連合会作品展」が開催されました。

声かけは  
はつきり  
ゆつくり  
みじかく  
やさしく

## 徘徊搜索模擬訓練を実施

だれもが安心して暮らせるまちをめざして  
～認知症かな？ちがうかな？  
それより勇気あるあなたの声かけを！～

認知症のかたやそのご家族が安心して暮らせるまちをめざして、十一月二十九日、認知症高齢者が行方不明になった事態を想定した「徘徊搜索模擬訓練」を網野町内で実施しました。平成二十一年三月に行って以来二回目となる今回の訓練は、京丹後警察署や市消防団の協力も得て、地域のかたや福祉施設の関係者など前回の倍以上の総勢百七十九人が参加。認知症高齢者に対する正しい声のかけ方や対応方法などを確認しました。

この訓練は、認知症のかたとそのご家族を地域で見守り支え合う意識を高めていくとともに、近年増えつつある徘徊を原因とした行方不明事故に対する早期発見・保護のための「徘徊SOSネットワークシステム」を構築する



声かけの方法を実践で学びました

ことを目的に実施されました。訓練は、認知症高齢者・網野はな子さん（仮名・八十三歳）の行方がわからなくなった、という設定のもと行われました。まず防災行政無線ではな子さんの服装・身体的特徴が放送され、それを聞いた参加者のみなさんが町内各地を搜索。市網野町民生児童委員や福祉施設職員、介護家族のかたなどが扮するはなさんを見つけると、「どこへ行きななですか」などと声をかけて正しい声かけの方法などを確認されました。参加された地域住民のかたは「訓練によって声かけの自信がわいた。機会があればこれからも見守りと声かけをしていきたいと思う」と話されました。また、行政・警察・消防や介護福祉施設など関係機関の情報伝達訓練も併せて行われました。

意見交換

なぜ京丹後市には長寿のかたが多いのか

昨年引き続き、市立栄病院の安原正博院長をコ―ディネーターに、意見交換を実施しました。立命館大学産業社会学部中川勝雄研究室の富澤公子さん、京都健康長寿医療センター研究所の増井幸恵さんをパネリストとして招いたほか、実践報告で貴重な話をしていただいた宮崎副センター長にも参加していただき、京丹後市に暮らすかたの長寿の秘密が語られました。紹介します。



熱い意見交換を展開  
左から安原院長、富澤さん、増井さん、宮崎さん

「京丹後には、四季折々の豊かな自然の恵みや地域の互助の力がある。これらを活かし、地域で和の食生活を守ってきたこと、そしてお互いに助け合ってきたこと。これが京丹後に長寿のかたが多い秘密」

「長寿には安心して身を任せられる介護者が必要。京丹後は同居率が非常に高く、身内を介護する家庭が多い。長い歴史・風土の中で培われた絆のようなものが京丹後にはあるのではないかと」

「百歳以上のかたには、社会的で活動的、そして努力家のかたが多い。外出や人との交流でストレスをうまく解消することができ、根気よく日々の健康運動を続けることができるからだと思ふ。日々の日常的な行動が百歳長寿につながる」

「百歳長寿者には新しいもの好きなかたが多い。これは、老後訪れるいろいろな変化や新しい状況を、うまく受け入れることができるからではないか」

このほかにも百歳長寿についてのさまざまな意見が交わされました。

第2回 健康大長寿のさとづくり 全国大会を開催

高齢化社会の「光」の側面に焦点をあて、老いや長寿それ自体を心から喜ぶことができる地域社会の実現に資することを目的に、十一月二十七日、第二回「健康大長寿のさとづくり全国大会」を京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）で開催。全国の自治体や医療・保健関係者のみなさん、市民のみなさんなど約五百人が参加され、各分野の専門家のかたの講演や意見交換をおして、喜びあふれる豊かな高齢化社会とはどのようなものがあるべきなのかについて、理解を深めました。（講演の内容は、二十二ページに掲載しています）



近年、高齢化社会の進展とともに平均寿命も延伸する中で、高齢化社会の問題点や課題といった「影」の側面を取り上げるだけでなく、高齢ゆえに得られる喜びや宝などの「光」に注目し、老いや長寿をますます楽しむことのできる地域社会の実現をめざしていくことが、豊かなまちづくりを実現するうえで今後いっそう重要となります。

市では、このような観点から、健康長寿の推進に先進的、また特色のある取り組みを行っている全国の地域・自治体や医学・保健関係のかたなどの多くのご協力のものと、交流の輪を広げ、必要な情報交換と連携を図ることを主な目的として、平成二十年から「健康大長寿のさとづくり全国大会」を開催しています。

二回目の開催となる今年度は、「健康寿命と食と健康」見つけ

高齢化社会の「宝」を見つめる

大会は、国内男性最高齢の木村次郎右衛門さん（丹後町中野・百十二歳）が長寿の秘訣などを披露するビデオレターとともに開幕。中山市長が「高齢化社会がますます進展する中で、その負担をどうするか、という受け止め方だけではもつたいない。高齢化社会というのは本来もっと感謝し、喜び楽しむことのできるも

のだと思う。成熟や円熟をもっと喜ぶことのできるまちづくりには進んでいかねければならない。この大会が、その弾みになることを祈っている」とあいさつしました。

その後、武庫川女子大学国際健康開発研究所の家森幸男所長による基調講演や、千葉大学環境健康フィールド科学センターの宮崎良文副センター長の実践報告、市立弥栄病院の安原正博院長などによる意見交換を実施。会場に集まった市民のみなさんは、熱心に聴き入りま



アトラクションとして行われた「転倒予防おたっしや体操」

百歳バンザイ!! 推進市町村連絡協議会 設立 15府県27市町が連携

平成二十年に開催した第一回「健康大長寿のさとづくり全国大会」を機に全国の市町村に設立を呼びかけた「百歳バンザイ!! 推進市町村連絡協議会」を、第二回同大会開催にあわせ設立。笑顔あふれる長寿社会の実現に向け、新たな歩を踏み出しました。

〈顧問〉(敬称略)

浅野 史郎	元宮城県知事・慶應義塾大学教授
井形 昭弘	名古屋学芸大学学長・日本尊厳死協会理事長
堺屋 太一	作家・元経済企画庁長官
尚 弘子	琉球大学名誉教授・元沖縄県副知事
鼻地 三郎	教育学者・しいのみ学園園長
平良 一彦	琉球大学観光産業学部副学部長
徳岡 邦夫	京都吉兆総料理長
原 寛	新老人の会九州支部世話人代表
早川 一光	総合人間研究所長
日野原重明	聖路加国際病院理事長
広野 道子	21Lady代表取締役社長
丸山 和也	弁護士・参議院議員
吉川 敏一	京都府立医科大学大学院教授

〈参加自治体〉

岩手県 西和賀町	京都府 福知山市	島根県 雲南市
福島県 相馬市	京都府 綾部市	島根県 飯南町
栃木県 足利市	京都府 南丹市	島根県 邑南町
埼玉県 草加市	京都府 木津川市	愛媛県 四国中央市
福井県 小浜市	大阪府 河南町	愛媛県 新居浜市
岐阜県 白川町	兵庫県 香美町	高知県 四万十市
京都府 伊根町	兵庫県 新温泉町	宮崎県 都城市
京都府 与謝野町	鳥取県 鳥取市	沖縄県 名護市
京都府 宮津市	島根県 安来市	京都府 京丹後市

同協議会は、本市をはじめ、北は岩手県から南は沖縄県までの十五府県・二十七市町で組織。「喜ぼう／高齢化社会 感謝しよう／長寿社会」を高く掲げ、社会全体で心から老いや長寿を喜び楽しむことのできる気運・環境づくりへの取り組みを推進し、明るい健康長寿社会の実現を図るものです。

主な取り組みとして、

- ・健康長寿の推進のための施策などの情報交換

・研修会、講演会などの開催

・各地の先進的な事例などを紹介した情報誌の発行

を実施することとしています。また、この取り組みに賛同いただける十三人の有識者のかたに顧問としてお力添えいただき、必要に応じてご指導・ご協力をいただきます。

この協議会の設立により、ますます多くのかたが健やかに百歳を超える大長寿（百歳長寿）を享受することができ、笑顔あふれる長寿社会の推進に寄与することを望んでいます。

今後は、参加団体それぞれが広く全国に新たな参加を呼びかけるとともに、それぞれが長寿を活かしたまちづくりと相互の交流を進めていくこととしています。

# あなたが選ぶ 「2009年京丹後市10大ニュース」

市民のみなさん一人ひとりが今年1年を振り返るきっかけとしていただくとともに、京丹後市政に対して理解と関心を高めていただくことを願い「あなたが選ぶ 2009年京丹後市10大ニュース」を募集し、このたび、決定しましたのでお知らせします。多くのご応募ありがとうございました。(投票総数 1,048 票)

**1** 189票  
**名誉市民に  
野村克也さん**



本市出身の野村克也さんを  
名誉市民として顕彰。

**2** 172票  
**男性日本最長寿に  
木村次郎右衛門さん**



木村次郎右衛門さん(112歳・丹後町  
中野)が、男性日本最長寿に。

**3** 128票  
**20年産丹後産コシヒカリ  
西日本で唯一  
2年連続の「特A」を獲得**



日本穀物検定協会が実施する「食味  
ランキング」で、最高ランクの「特A」  
を西日本で唯一、2年連続で獲得。

**4**  
**八丁浜シーサイドパーク  
全面オープン**



平成元年から整備を進めてきた八  
丁浜シーサイドパーク(網野町浅  
茂川)が完成し、全面供用開始。

**5**  
**サッカーU-18日本代表で活躍  
荻野 賢次郎 君**



峰山高高等学校三年生の荻野賢次郎  
君が、サッカーU-18(十八歳以下)  
日本代表に選出・活躍。

**6**  
**上限200円バスエリア拡充  
「弥栄網野砂丘線」誕生**



従来の弥栄病院線を木津・浜詰・箱石・  
平田地区まで延伸し、全面リニューアル。

**7**  
**久美浜中学校野球部  
府中学校総体で優勝**



京都府中学校総合体育大会  
で優勝。近畿中学校総合体  
育大会へ出場。

**8**  
**地域情報の新たな  
発信拠点  
「FMたんご」開局**



丹後地域で初のコミュニティ  
FMとして開局。地域に根ざ  
した情報の発信拠点に。

**9**  
**日本ジオパークに認定  
京丹後市から  
鳥取市東部の山陰海岸**



平成21年12月には、世界  
ジオパークへ申請。

**10**  
**コウノトリ  
但馬空港～  
東京羽田空港間  
飛行機利用助成はじまる**



東京直行便の実現をめざし、  
航空運賃の一部を助成。

## 健康づくり講演

第2回健康大長寿のさとづくり全国大会での、健康づくりに関する講演の概要をご紹介します。

### 基調講演

#### 世界の長寿食探訪 ～長寿の秘けつは食にあり～



**家森幸男 所長  
(予防栄養医学者)**  
京都市生まれ。京都大学大学院医学研究科博士課程を修了後、京都大学医学部助教授、島根医科大学教授などを歴任する一方で、WHOの協力を得て食と健康をテーマとし世界25か国61地域の学術調査を実施。「カスピ海ヨーグルト」を日本に広めたことで知られる。現在、武庫川女子大学国際健康開発研究所所長ほか各関係要職を兼任。

コーカサス地方の人が毎日食べている、今や日本中に広がった「カスピ海ヨーグルト」は、おなかの調子をよくします。おなかの調子がよくなると、女性は健康的できれいになります。実は世界の長寿地域には共通点があって、それは女性がかれいだという事なんです。日本は今、世界一の長寿地域ですが、やはり日本の女性は世界で一番肌がかれいですね。

また、ヨーグルトに負けないくらいいいものがある。それは大豆です。大豆食文化が根づく地域は長寿の死亡率も多く、またがんによる死亡率も低い。これは、大豆に含まれている「イソフラボン」が血管を拡張して

血をサラサラ流れるようにし、血栓ができるのを予防するほか、がん細胞の増殖を抑える働きをするからです。

ブラジルで、普段まったく大豆を食べない高血圧のかたに大豆の胚軸をふりかけにして食べてもらったところ、たった三週間で血圧もコレステロールも下がりました。日本人はそれほど恵まれた食材を、毎日食べることができる。だからこそ長寿になれる。また、イソフラボンは脳の満腹中枢に働きかけて肥満を抑制する作用もあります。だから日本人は異常に太ることがないんです。

日本人は、このようなすばらしい食文化があることに感謝しなければなりません。

### 実践報告

#### 自然がもたらす快適さの不思議 ～森林浴のすすめ～



**宮崎良文 副センター長  
(医学博士)**

人間が人間になって五百年の間、そのほとんどを森林環境の中で生活してきました。人間の歴史の中で都市が出現したのはごく最近のことです。「人間の脳も目も鼻も耳もすべてが自然環境の中で進化し、自然環境用につくられている」これが私の研究仮説です。

都市ができてきたかたから、三百年で遺伝子が変わるなんてことはできませんから、我々は自然に対応した身体を持ちながら都市に住んでいることになりました。

そのため現代人は常にストレス状態にあり、それにより免疫機能が抑制されています。ですが、森林浴をはじめとする自然由来の刺激を受けることによって、

人間が人間になって五百年の間、そのほとんどを森林環境の中で生活してきました。人間の歴史の中で都市が出現したのはごく最近のことです。「人間の脳も目も鼻も耳もすべてが自然環境の中で進化し、自然環境用につくられている」これが私の研究仮説です。

都市ができてきたかたから、三百年で遺伝子が変わるなんてことはできませんから、我々は自然に対応した身体を持ちながら都市に住んでいることになりました。

そのため、そのような予防医学的効果によって生活の質が向上し、それが長寿につながる。自然が持つ長寿への貢献というものを、私はそう解釈しています。

この効用は、とりもなおさず、予防医学的効果です。たとえば森林浴することによって風邪が治るとか、そんなことはありません。そういった特異的な効果を求めているのではなく、免疫機能を改善して、病気にならない身体をつくる。これが森林浴、森林セラピーの終着点となる目標だと考えています。

身体がリラックスし、免疫力が回復する。人としてのあるべき姿に近づけるのです。この効用は、とりもなおさず、予防医学的効果です。たとえば森林浴することによって風邪が治るとか、そんなことはありません。そういった特異的な効果を求めているのではなく、免疫機能を改善して、病気にならない身体をつくる。これが森林浴、森林セラピーの終着点となる目標だと考えています。

神戸市生まれ。東京農工大学修士課程修了。東京医科大学歯科大学医学部で助手を務めたのち、農林水産省森林総合研究所で勤務中の平成12年、森林、木材の持つ快適性増進効果にの生理的解明で農林水産大臣賞を、平成19年には日本生理人類学会賞を受賞。平成20年からは現在の千葉大学環境健康フィールド科学センターで、副センター長として活躍中。



「KTR駅物語」撮影風景

地域力再生プロジェクト支援事業とは  
京都府では、市町村と協力して、地域住民のみならずが主体的に参画する公共性のある活動を、平成十九年度から「地域力再生プロジェクト支援事業交付金」で応援しています。(今年度

京都府のひろば

平成20年9月号から、京都府で取り組まれています市民生活にかかわる事業などについてご紹介しています。

地域活動  
京都府地域力再生プロジェクト支援事業などが  
北近畿タンゴ鉄道を支援

の申請は終了しています

- ▼環境保全活動
  - ▼地域美化活動
  - ▼地域産業おこし
  - ▼地域文化活動
- など幅広く支援。京丹後



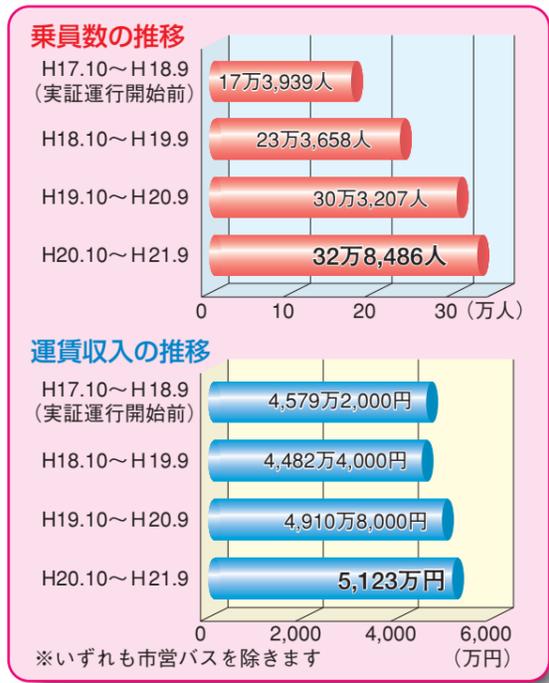
高齢者ふれあいサロンを開催 (岩滝口駅)

上限200円バス

三年間の成果

乗車人員およそ1.9倍  
運賃収入およそ12%増加

丹後海陸交通(株)(丹海バス)との協働による上限200円バス三年間(平成十八年十月一日～二十一年九月末日まで)の実証運行成果(速報値)をお知らせするとともに、公共交通体系を充実するためにこれまでに着手してきました、路線バスの再生に関する取り組みをご紹介します。



平成十八年十月一日から実施しています上限200円バス  
の実証運行も、今年九月末で三年を経過しました。平成二十年十月一日～平成二十一年九月三十日までの一年間の乗車人員は、三十二万八千四百八十六人で、実証運行開始前

の一年間と比較すると約一九倍。前年との比較でも約二万五千人の増加(約八・三割の増加)となるほか、運賃収入においても、前年より約二百十万人増加の五千二百三十三万円となるなど市内のバス交通に活気が戻りつつあります。  
特に、自動車を運転しない高校生や高齢者のみなさんにとっては、安心して生活を送る上で大切な移動手段であるとともに、家庭への経済的負担の軽減も期待されるなど、「上限200円バス」は多くの市民のみなさんに喜んでいただいています。  
また、丹後地域の活性化のためにも、公共交通を優良な観光資源として見直し、より多くのかたに丹後へ来ていただけるような公共交通体系を構築していくことが、今後の「まちづくり」にとって重要となっております。  
平成二十一年十一月一日からは、バスと鉄道が二日間乗り放題となる「丹後半島・間人フリーパス」も発売されるなど、上限200円バスは、鉄道とともにまちの活性化の大きな柱のひとつとなりつつあります。

市域では今年度、二十六事業を、三年間では五十九事業を支援しています。  
北近畿タンゴ鉄道を支援  
丹後地域における支援事業は、三年間で百六十事業となり、北近畿タンゴ鉄道(KTR)を支える事業も行われています。  
KTRの平成二十年度の年間乗客数は、三年ぶりに二百万人を突破しましたが、今年度は、経済・雇用情勢の悪化、高速道路の休日ETC割引、夏場の天候不順などにより、利用者が減少。また、昨年度の原油高騰による影響は、収支悪化につながっています(平成二十一年三月期決算で、経常収支約▲七億円)。

これまでの主な取り組み

- 区間最大1,150円 → 200円
- 運賃を安く…学生定期(3か月) 運賃最大72,620円 → 17,780円
- 回数券を買いやすく → バス車内で回数券を販売
- バス停を近くに…37か所増設 → 合計174か所  
さらに弥栄病院やショッピングセンター、KTR木津温泉駅などの玄関口にバス車両の乗り入れを実施
- 公共交通空白地解消を推進 → 新たに5,800人のみなさんの地域でバス運行を開始

※このほか、市営バスの運賃も上限200円とし、市内のバス交通の体系づくりを推進しています。



笑顔があふれるバス車内(久美浜線) 路線バスに乗って、経ヶ岬へ遠足を実施(網野地域公民館)

地域力再生プロジェクト支援事業以外にもさまざまな活動が行われており、平成21年12月12日には、KTR峰山駅で花いっぱい活動が取り組まれました。地域の少年団や高校生など約100人が、KTR峰山駅前の花壇の花植え、駅舎やその周辺の清掃活動を実施。みんなでKTRを支えています。

しかしKTRは、通勤・通学をはじめ丹後地域にとって重要な唯一の鉄道であることから、さまざまな団体が利用促進などの支援活動を展開。具体的な事業は、「吉津婦人会 KTR岩滝口駅高齢者ふれあいサロン」、「宮津メディアセンター KTR駅物語制作」、「NPO法人平成きもの維新 着物姿でKTRに乗ろう活動」などで、KTRを支える取り組みが行われています。

KTRお得情報  
通勤・通学定期券

- ▶3か月定期乗車券購入で、有効期限が**プラス1か月**
- ▶6か月定期乗車券購入で、有効期限が**プラス2か月**

※購入日が、平成22年3月31日までの3か月・6か月定期乗車券に適用となります。

お問い合わせ先/北近畿タンゴ鉄道 ☎0772-22-8571

# 人権市民のつどい 2009 開催



▶心とらぐフルートの音色と人の支えでここまで来れたことを語りかけられた奥田良子さん



▶さまざまな視点から人権に対する思いの作文を朗読

第二部ではフルートとベースで全国的に演奏活動をされているエスペランサによる「トーク&コンサート」夢をあきらめないで」が行われました。フルート奏者の奥田良子さんは、二十三歳のとき、難病指定されている「クローン病」と診断。一度はフルート奏者の夢をあきらめるが、「もう一度音楽を奏でたい」と願う強い意志と、夫でありベース奏者の勝彦さんの支えにより乗り越えてこられた過去の体験を、優しいフルートの音色とともに会場に訪れた約百四十人のかたに語りかけられると、会場は深い感動に包まれました。

**クローン病**  
口や腸などの消化管に炎症や潰瘍（かいよう）が生じる病気

市と市教育委員会では、気軽に親しみやすい雰囲気の中で、人権問題について学んでいただく機会として十一月二十九日、アグリセンター大宮（大宮町口大野）で「人権市民のつどい」を開催しました。

人権市民のつどいは、市民のかた一人ひとりが自らの課題として、人権尊重の理念を深めることを目的に、今年度は二部構成で実施。第一部では、全国の中学校を対象に人権について理解を深めることを目的に法務省などが実施している「全国中学生人権作文」において、優秀作品などを受賞された生徒のかたによる作文の朗読が行われました。



第45回

## 久美浜湾一周 駅伝競走大会 開催

一本のタスキに思いをのせて

風光明媚な久美浜湾を一周する、「久美浜湾一周駅伝競走大会」（市・市教育委員会・市体育協会主催）が十一月二十三日（日）に浜公園（久美浜町）をスタート・ゴールに開催され、市内外から四百九十二人・八十二チームが参加され懸命にタスキをつなぎました。

四十五回目を迎えた同大会は、久美浜湾の周囲15・6キロのコースを一チーム六人でタスキをつなぎ走ります。同町内在住・在勤の選手で構成するチームを一部、それ以外を二部として、



中継所で次走者へタスキを渡す選手

それぞれ一般・学生および性別などに分け、計九部門でタイムを競いました。開会式では、泉保さん（「楽しく走ろう会」・男子一般一部）が「タスキに込めた思いを楽しみながら、力強く最後まで走りまわす」と宣誓されました。レースでは、健脚自慢の選手のみならず、一本のタスキを全チーム最後の走者までつなぎ、久美浜湾一周を走りきりました。

### 《主な部門の1位のチーム名》

- 【男子】  
一般1部 かぶとやま  
一般2部 タケチャンファーム  
学生1部 プリンセスユウキ再臨  
学生2部 網高来港！…ここどこー？
- 【女子】  
一般1部 B. L. T  
一般2部 タケチャンファームレディース  
学生1部 高籠中学女子駅伝部  
学生2部 網野高校黄ジャーの人達.com

## 京都府丹後文化会館からのお知らせ

お問い合わせ先  
京都府丹後文化会館  
☎62-5200

### 京都府丹後文化事業団事務局長（京都府丹後文化会館館長兼務）を募集

- 職種** (財)京都府丹後文化事業団事務局長（京都府丹後文化会館勤務）
- 採用人数** 1人
- 受験資格** ○昭和40年4月1日以前生まれで、高等学校卒業以上の学力を有するかた  
○市内在住または市内に居住できるかた
- 待遇** (財)京都府丹後文化事業団の定めるところによります
- 試験日** 2月16日(火)
- 試験場所** 峰山地域公民館（峰山町杉谷）
- 試験内容** 作文・面接

- 結果通知** 3月中旬にご本人あてに通知します
- 採用日** 4月1日(木)（予定）
- 応募方法** 1月25日(月)～2月8日(月)（郵送による場合は、受付期間内の消印のあるものに限り有効とします）に、次の書類を添えて下記へお申し込みください。  
○申込書（京都府丹後文化会館にあります）  
○履歴書（自筆で、最近3か月以内に撮影された写真を貼付してください）  
○最終学校の卒業証明書  
○健康診断書
- 申込先・お問い合わせ先** 〒627-0012 京丹後市峰山町杉谷1030番地（財）京都府丹後文化事業団（☎62-5200）※応募書類はお返しできません。

## 地域活性化・人材育成に向け

### 企業と高等学校が連携



網野高等学校企画経営科の授業で講義（山根弘照さん）

京丹後市出身で、IT（情報産業）関連事業に携わる(株)スポットライト（京都市中京区）の代表取締役である山根弘照さんを講師に招き、ITを活用して地域活性化と人材育成をめざす取り組みが、平成21年4月から11月までの間、府立網野高等学校企画経営科の3年生（29人）を対象に授業の一環として実施されました。

山根さんは、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき立命館大学に整備された大学連携型企業家育成施設「立命館大学BK Cインキュベータ」で、平成十六年に起業。検索エンジン（インターネットで公開されている情報をキーワードなどを使って検索するWEBサイト）などのシステム・ソフトウェアを、大学と共同で開発されました。

国内のコンピュータに関するソフトウェア・サービス関連ビジネスが、成長する海外市場へ流出傾向にある中、山根さんは「こういった仕事こそ国内の地方で担うことができないか」と考え、出身地である本市に拠点を置いてのソフトウェア開発や、地域での人材育成の可能性を模索。網野高等学校とも連携することになり、今回の取り組みが実現しました。授業では講義をはじめ、ホームページサイトに関するアイデアの考案、丹後の情報を発信するための情報集約などの実習を実施。最後の授業で山根さんは「京丹後市を、住みやすい、住みたいと思えるまちにする」とともに、IT産業を根づかせたい」と話されました。

# みなさんのご理解をお願いします

## 市職員と仕事上の利害関係者間のルール制定

### 京丹後市職員倫理条例

2月1日から施行

市職員が、市民のみなさんから疑惑や不信を招かれるような行動をとることを未然に防止し、市政全体に対する信頼を確保することを目的とした「職員倫理条例」と「職員倫理規則」が二月一日から施行されます。同条例および規則は、市職員が公務の遂行にあたって、守らなければならない倫理上の規準や心構えとともに、許認可の相手方、契約の相手方など、市職員にとって利害関係者となるかたの範囲を定めた上で、利害関係者との間で禁止される行為などを規定しています。

#### ● 倫理行動規準

- 市職員が、職務に係る倫理の保持を図るために遵守すべき行動の規準、心構えの要旨は、次のとおりです。
- 市民全体の奉仕者であることを自覚し、常に公正な職務の執行に当たらなければならない。
- 職務や地位を私的利益のために用いてはならない。
- 市民の疑惑や不信を招くような行為をしてはならない。
- 公共の利益の増進をめざし、全力を挙げてこれに取り組みなければならない。
- 自らの行動が公務の信用に影響を与えることを常に認

#### ● 行動のルール

- 市職員が仕事上の利害関係者との間において行う行為のうち、禁止される行為と禁止行為から除かれる行為を定めています。それぞれの主な内容は、次のとおりです。
- 利害関係者とは、職員が現に携わっている次の事務の相手方で、職員の仕事上、直接に関係のある人のことをいいます。
- 許認可などを受けて事業を行っている者、許認可などの申請をしている者および許認可などの申請をしようとしている者

#### 利害関係者との間で禁止される行為

- 金銭・物品・不動産の贈与（せん別、祝儀、香典・供花などを含む）を受けること。
- 金銭の貸し付け、無償で物品または不動産の貸し付けを受けること。

#### 禁止行為から除かれる行為

- 無償で役務の提供を受けること。
- 未公開株式を譲り受けること。
- 供応接待を受けること。
- 一緒に遊技やゴルフ、旅行（公務のための出張は除く）をすること。
- 第三者に対して前記のような行為をさせること。
- 広く一般に配布するための宣伝用物品、記念品の贈与を受けること。
- 多数の人が出席する立食パーティーで記念品の贈与を受けること。
- 職務として利害関係者を訪問した際に、提供される物品を使用することや、提供される自動車を利用すること。（利用が相当と認められる場合に限る）
- 職務として出席した会議そのほかの会合で茶菓の提供を受けること。
- 多数の人が出席する立食パーティーで飲食物の提供を受けること。
- 職務として出席した会議で簡素な飲食物の提供を受けること。

#### ● 倫理保持の体制

倫理監督者の設置や管理職員の責務の明確化、職員研修の実施とともに、不当要求行為等対策や倫理に関する公益通報制度の活用など、市役所全体として倫理の保持のための体制整備に努めます。

#### ● みなさんへのお願い

市職員が正しい倫理観を持つことが何よりも重要ですが、利害関係になりうる市民のみなさんや仕事上で関係のあるみなさんにも、ご理解いただくことが必要となりますので、ご協力をお願いします。

## 事業者のみなさんを支援します 第九回 誌上 経営セミナー

講師・吉田俊也さん

### 「事業計画をつくらう」 ～其の四 資金調達～

みなさんこんにちは！誌上経営セミナー担当の吉田俊也です。新たな年の始まり、あなたはどんな目標を立てましたか？この一年が実り多き一年になりますよう、ぜひとも素敵な目標を立ててくださいね。さあ新たな年を祝いながら、今日もこのコーナーで一緒に勉強してまいりますよう！

前号までで事業計画の大枠について説明してまいりました。目標を設定し、収支計画を立案するところまで進めてまいりましたが、ご理解いただけましたでしょうか？「まだちょっと不安が…」というかたは、本誌のバックナンバーをご覧くださいね。これまでの復習をしてみてくださいね。そして今回はみなさんにとって特に興味深いところでもある、「資金調達」について考えてみます。事業を新たに始めるとき、事業を拡大する

とき、また日常の運転資金が不足するときなどは、一定の資金を調達することが経営上どうしても必要となってくる。そしてその資金を「どこから」「どうやって」「どのくらい」調達するのか、あるいは調達できるのかというところは、経営者であれば誰しも気になる場所です。

まずは資金を「どこから」調達するのか、ということを考えてみましょう。資金を調達する先を大きく二つに分けてみると、一つは「そのお金を返さなくてもいい人たち」であり、もう一つは「そのお金を返さなくてはならない人たち」です。みなさんは資金調達と言えれば後者を思い浮かべることが多いと思います。が、返さなくていいお金を調達できれば安定的に経営できる可能性が高まります。前者という選択肢があることを忘れないようにしましょう。

実はこの二つの違いは、決算書にも表れています。いわゆる「負債」と「資本（純資産）」の違いがこれにあたります。負債は「返済する必要

があるもの」であるのに対し、純資産はそのような性質を持っていません。ただし中小企業の場合には、経営者やそのご家族が、個人のお金を会社の事業に投入し、これを経営者やご家族個人からの「借入金」として会計上処理し、負債の部に表示されていることも多くあります。実際の経営上はこれも「返さなくていいお金」に近いものとして解釈される場合が多いので、決算書を見る時には注意が必要かもしれませんね。

それではここからは返すべきお金の代表例、「借入金」に話を絞って、これを「どうやって」調達するか、ということについて考えてみましょう。普段、みなさんは「借りる側」としての立場で借入というものを捉えています。思いいますので、ここではぜひ「貸す側」になったつもりで考えてみましょう。



お金を貸すときに気になること、それは「そのお金が返ってくるかどうか」に尽きると言ってもいいですよ。とすれば、貸すときに「ちゃんと返ってくるだろう」と思える証拠があれば貸しやすい、ということになります。金融機関が保証人や担保を要求するのはこの理由からです。ただ、担保がない場合であっても、借り手の商売が繁盛してくれば、そのお金を返してもらうことはそれほど難しくはいはず。そのことを証明する資料として、「事業計画書」が求められる、というわけです。お金を貸す側としてはこのような証拠が欲しいというのがある意味当然のことかもしれませんね。

そしてこの「証拠」の大きさや信ぴょう性によって、借りられる資金の大きさも変わってきます。借りたお金をどのように使って、どのような仕組みに使っているのか、つまり、「どのくらい」調達するのか、というのと密接に関係があるわけ。資金調達というのは、資金提供者と「未来への約束」を交わすこと、と言えます。約束は決して破りませんよ！と宣言できるような事業計画を作ることを心がけて下さいね。

## 通信指令室長からのお願い



通信指令室長  
奥田 直人



- 自宅から通報をされる時は、通報場所の特定ができる固定電話を使用してください。携帯電話は、住所確認に時間を要してしまうためです。
- 「サイレンを鳴らさずに来てください」と言われることがあります。道路交通法により、消防車両はサイレンを鳴らさなければ緊急走行できないことになっていますのでご理解ください。
- 誤って通報をしたとき、何も言わずに電話を切るかたがおられますが、そのようなときは電話を切らず「間違えました」と伝えてください。通信指令室では緊急の可能性のあるものと考え、確認の連絡を取ることになっています。
- 病院照会などのお問い合わせは、☎62-0119をお願いします。

市では、京丹後市地域情報化計画に基づき、光ファイバケーブルの敷設による、光インターネットやケーブルテレビ放送といった情報通信基盤の整備を行っています。その中で、光インターネット接続と同時に利用できるサービスのひとつに、光IP電話サービスがあり、市民のみならずも多くのかたが利用されることと思います。

光IP電話は、通話料が安いなど、たくさんのメリットがありますが、停電時には機能的に使用できません。この場合、緊急の119番通報もつながらず、そんなときはあわてず、携帯電話を使用するなど、ほかの通報手段を検討してください。

## 光IP電話



24時間365日市の安全を守ります

通信指令室員は、みなさんからの通報を受け、直接現場へ出動し活動することはありません。しかし、今まさに起きている災害に対し、一番初めに接する部署でもあります。

## 架け橋であり続けるために

通報の内容から災害の状況をイメージし、消防隊や救急隊がより迅速で的確な活動ができるような情報を聞き取り、そして何より、「言葉と言葉」のやり取りの中で、災害に直面しているみなさんの不安を少しでも取り除き、その被害が最小限のうちに治まることを願ひ、みなさんからの通報に対応しています。

「早く来てくれ」と思われるくらい細かくお聞きすることもあります。時には電話をつないだまま、応急手当をお願いすることもあります。でも安心してください。消防車や救急車はすでにあなたのもとへ向かっています。

今後も市民のみなさんの安全な暮らしを守るため、さらに努力を重ねてまいりますので、適正な「119番」の利用に、なお一層のご協力をお願いします。

# あなたを守る架け橋「119」

## 119番は、消防と市民のみなさんをつなぎます

「火事・救急・救助は、局番なしの「119番」まで」みなさんも一度は目や耳にしたことのあるフレーズではないでしょうか。今回は、安心・安全を言葉と電波に乗せて発信する「通信指令室」をご紹介します。

# 消防の志場

たんごの風43号

## 119

火災・救急・救助

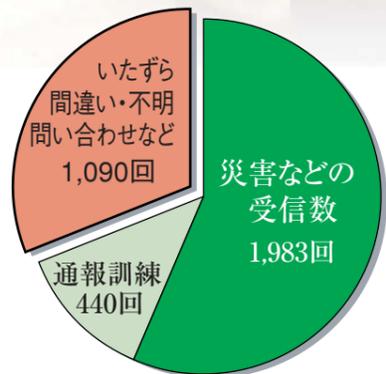
代表 62-0119  
総務課 総務係 62-8119  
管理係 62-8129  
予防課 62-5119

住宅用火災警報器の設置期限まであと516日です

## 通信指令室の紹介

市消防本部では、平成十四年三月から現在の「消防緊急通信指令施設」を運用しており、市内のあらゆる災害に対応しています。

この施設は、119番通報の受信から出動まで、より速く、より確実な指令が可能であり、特に、地図検査装置と発信地表示装置により、素早く通報場所を特定できることから、初動体制の確立に大きな威力を発揮しています。



## 119番受信状況

平成二十年中、通信指令室では、119番通報を三千五百十三回受信しました。そのうち、災害などの受信数は千九百八十三回（五六・五％）で、それ以外の受信数は千五百三十回（四三・六％）ありました。それ以外の受信数の中には、間違い・い



## 救急ヘリコプター



救急救命士 中西 孝文



京丹後市市民のみなさん、ドクターヘリという救急システムをご存じですか。

このシステムの概要は、消防署が重症の119番通報を受信した時や、救急出動現場で医師による早期治療が必要と判断した場合に、救命救急センターなどに常駐している専門の医師と看護師が搭乗したドクターヘリに出動要請し、現場近くの小学校などに着陸して、救急隊と協力し治療を開始するシステムです。

つまり、生命の危機に直面している人の所へ医師が直接出動し、病院で行う治療を現場で開始するというシステムです。

現在、ここ京丹後市内も運航エリアとなる公立豊岡病院を拠点とするドクターヘリ運航計画（平成二十二年四月運行開始予定）が進んでいます。

参考ですが、すでに二十機を越えるドクターヘリが全国各地で活躍しています。

住宅用火災警報器などに関するお問い合わせは、京丹後市消防本部予防課（☎0772(62)5119）または、最寄の消防署まで。京丹後市消防本部ホームページもご覧ください。http://www.city.kyotango.kyoto.jp/kcfd/

※既に建っている住宅への住宅用火災警報器の設置義務期限です。新しい建物については既に設置義務があります。

あなたの声を市政に

ご意見箱

Q 喫煙場所について (峰山庁舎・福祉事務所)

市役所の裏口玄関付近に、屋根つきの喫煙所が随分前からできていたのを見ました。そこで喫煙されている職員のかたが、道路から丸見えでもとても気になります。

裏口玄関も市民のための入り口だと思います。なぜ入り口に設置されたのでしょうか。

それから、喫煙所設置にあたっての予算などは出ているのでしょうか。

福祉事務所でも同様です。裏口付近に喫煙所があり、そこから出入りする市民にはとても迷惑です。それぞれ、別の場所を考えてください。

【市内・女性】

A 喫煙場所は、現在の場所が地理的条件などから見ても適当と考えます

市役所庁舎におきましては、健康増進法に規定の受動喫煙を防止する目的で、市役所をはじめ市が管理する施設などにつきましては、建物内や施設内においての喫煙を平成二十

紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただきます。

年四月一日から禁止しているところ

喫煙場所の設置にあたり、峰山庁舎を管理する総務課としましては、各出入口の利用頻度や地理的条件などを考慮し検討を重ねた結果、峰山庁舎においては、現在の北側出入口付近が適当であると判断し、設置したところです。また、排煙装置を完備した個室などの新設工事を行うと多額の費用が必要となるため、比較的少ない費用で設置できる現在の形とさせていただきます。

福祉事務所におきましては、京丹後市誕生から建物内での喫煙は禁止しており、健康増進法の趣旨を尊重して、平成二十年四月から喫煙場所を最小限に整理することにしました。

その際、福祉事務所の敷地内での喫煙場所を検討した結果、職員出入口を喫煙場所としたものです。この喫煙場所は、来客のかたも利用されます。

ご指摘のとおり出入口付近に喫煙所を設置していることで、そこから出入りされる市民のかたに不快な思いをさせているという事実も受け止め、今後、職員に対して改めて喫煙マナ



喫煙場所の設置状況 (峰山庁舎・峰山総合福祉センター) 左・峰山庁舎 (北側出入口)、右・峰山総合福祉センター (職員出入口)

1の徹底を呼びかけてまいりたいと思いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【総務課】・【生活福祉課】

Q ブロードバンドネットワークサービスの工事について

先日、光ファイバの屋外キャビネットの取り付けの件で、電気屋から

Q 市職員の残業について

以前、新聞の記事で市職員の残業時間について知りました。市の財政はたいへん厳しいと聞いています。

残業をすることで、市役所の電気代や人件費が発生しますが、現在の不景気の中で、一般的に民間企業は人件費などの経費を抑える努力をす

ると思います。もっとコスト意識をもって仕事を

してほしいと思います。このような新聞記事を見ると、わたしたちの税金の使われ方に納得できません。

【市内・男性】

A 職員一人ひとりがコスト意識を今以上に持ち、業務量に応じた職員の適正配置に努めます

合併後、退職職員の不補充、職員の適正配置やアウトソーシングなど

A 広報媒体を通じて、工事の日程・進捗よく状況などをお知らせするよう努めます

ブロードバンドネットワークサービスの事前申し込みいただき、誠にありがとうございます。市では、十二月一日から始まったブロードバンドネットワークサービスを順次開始できるよう、市内全域で工事を進めております。

ご指摘いただきましたように調査員が伺った時点で、すでに引き込み位置や取りつけ位置が描かれた図面を持っていただくことに関しては、施工業者が訪問調査を円滑に進めていくため、幹線光ケーブル配線、最寄りの電柱位置、電話線の引き込み場所などを事前に勘案して、ご提案させていただく位置を記していただいております。あくまでも、キャビネットの設置位置は、加入者のかたのご意向を確認した上で決定するものであり、変更になる可能性があることを調査員も承知して訪問しております。

このような加入者宅での工事では、工事体制の中で下請契約を結んでいる地域の地理、気象条件、情報通信状況に詳しい地元電気業者が、それぞれの加入者のかたとご相談しながら、実施しています。なお、訪問の際には、元請業者(NTT西日本京都支店)が発行した写真つき工事従事者証を携帯しております。また、工事スケジュールのご案内

「ご意見箱」投稿に際しておねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとしています。ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確で丁寧な回答をお返しするよう努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返しするために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

【人事課】

電話があり取りつけてもらいました。そこでもらった書類の「京丹後市ブロードバンドネットワークサービス事業に係るお知らせとお願い」の中で、キャビネットの設置場所の設置位置確認を行い、設置工事確認書・設置同意書を作成いたしますのでご承諾に協力してくださいとあります。そして、電気屋が持っていた設置工事確認書には、すでに引き込み位置や取りつけ位置が描かれていました。その位置はこの場所につけてほしいと言った覚えはないのに、気を利かせて作成した場所のようです。電気屋さんには、希望の位置を説明し変更してつけてもらいました。

以前、二人組であいさつもなくデジタルカメラで電柱や家の写真を撮っている人がいて、何をしているか尋ねたらNTTの調査ですと言っていたのを思い出しました。どうもそのときに事前調査をしていたように思います。その時点で申込者と取りつけ位置の打合せをしとけばもっとスムーズにいったと思います。

そこで市のホームページを見ても、サービス開始までの工事スケジュールが見当りませんし、NTT西日本の工事を、どういう経緯で地元の電気屋が担当しているのか疑問です。

九千件以上も事前申し込みがあるので、今後の工事の日程・進捗よく状況・どんな業者が調査や工事にいつくるのかを広報してください。

【無記名・男性】

# 市立図書館のご案内

## ★ 新年おめでとろございます

市立図書館は、今年も市民のみなさまにとって親しみやすく利用しやすい、役に立つ図書館をめざして努めてまいります。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



## ★ 「セロひきのゴーシュ」朗読コンサートを開催 あみの図書館

NPO 法人「音楽のまちづくり」のご協力とご支援により、11月14日、宮沢賢治作『セロひきのゴーシュ』の朗読コンサートを開催しました。

演奏はプロのチェロ奏者である海野幹雄さん、朗読は「あみの読み聞かせボランティアの会」の北村桃江・南修・藤原淳子・引野悌子・芝井美美子・井谷正子・今井富美子・水野美代子・梅垣紀久代・白井早苗（敬称略）のみなさんで行いました。

読み聞かせ・おはなし会などの催しはこれまでも数多く開催してきましたが、市立図書館としては初めての試みとなる今回のコンサートであり、ボランティアのみなさんが朗読に挑戦し、練習を重ねてきました。また、チェロ奏者の海野幹雄さんは東京などで活躍ですが、京丹後市でも何度もコンサートを開いておられ、当日は、チェロと朗読の息もぴったり合い、会場いっぱいの観客は、朗読とともに目の前で演奏される美しいチェロの音色に圧倒され、熱心に聞き入りました。



冬は、こたつを囲んで家族が一つの部屋に集まることが多くなります。そんな家族のふれあいの時間に、テレビではなく「読み聞かせ」や親子で同じ本を読む「うちどく」で過ごされてはいかがでしょうか。

図書館では、家族で楽しい本に出会っていただけるよういろいろな本を取り揃えてお待ちしております。



## ★ 「秋のお楽しみ会」を開催 弥栄図書室

弥栄図書室では、「秋のお楽しみ会」を11月14日、弥栄地域公民館にて開催しました。ボランティアグループ「虹色のたね」のみなさんと職員による、手遊び、なぞなぞ、のびる絵本、大型絵本、マジック、最後にペープサート（紙人形劇）「にじいろのさかな」を行い、舞台いっぱいにはきれいな魚たちが泳ぎ、幻想的な世界となりました。親子など25人に参加していただき、みんなで楽しい時間を過ごしました。



## ★ 学校・保育所などで 読書推進活動（読み聞かせ訪問）をしています

市立図書館では、読書旬間などの期間に学校などからの依頼に応じて、読み聞かせ訪問を実施しています。読み聞かせボランティアのみなさんの協力も得ながら、絵本の読み聞かせ・ブックトーク・ストーリーテリング・読書へのアニメーションなどを組み入れて行っています。

ストーリーテリングとは、絵や本を見せずにお話を語ることです。子どもたちは、お話の内容を耳で聞いて想像することで楽しいお話の世界へ入っていきます。子どもたちは語り手の方に集中し、とてもよく聞いてくれます。

### 1月の休館日

1日(金)～5日(火)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

### 2月の休館日

1日(月)・2日(火)・8日(月)

※休館日は、1月1日から次号発行日の2月10日までを掲載しています。

# 下水道 接続のご案内

第5回

京丹後市では、平成九年三月三十一日から下水道の一部が供用開始されており、現在も整備区域の拡大を進めています。このコーナーは、下水道が整備されている地域で、下水道への接続がいつそう図られるよう、市民のみなさんの「下水道」に対する理解をいっそう深めていただくことを目的に、「下水道」の接続についてお知らせします。

## 半数のかたが 接続可能

市では、「京丹後市水洗化計画」に基づき下水道整備を行っており、建設



費や施設の維持管理の経済性を考慮するなどして「集合処理区域」と「個別処理区域」に分けて水洗化を図ることとしています。

平成二十年度末現在で、どれくらいのかたが下水道を利用できるのかを示す「水洗化普及率」は、五六割。集合処理区域内の約半数のかたが下水道へ接続いただける状況となっています。

## 下水には 二つの役割

下水道事業には、浸水防除や公衆衛生の確保、公共用水域の水質保全など、広く社会全体の利益を確保するという「公的役割」があります。一方、便所を水洗化して生活環境の改善を図るな

ど、市民の個人の利益を確保する「私的役割」があります。

## 多くの かたの接続を

下水道事業は「公共下水道・特定環境保全公共下水道事業」「集落排水事業（農業・漁業）」「浄化槽市町村整備

推進事業」があり、いずれの事業も各々の特別会計で、原則として使用料収入で施設の維持管理費・下水処理費用をまかなう独立採算となっています。事業の独立採算を成り立たせ、下水道の公的役割を果たすためには、一軒でも多くのみなさんに下水道へ接続していただく必要があります。

今年度、新たに下水道の供用開始をしたのは「峰山町菅・荒山」の一部、「大宮町三坂」の一部、「久美浜町仲町・土居・東本町・西本町」の一部です。これらの地区を含め、これまでに下記の地区で供用開始していますので、該当地区にお住まいのかたは、積極的に下水道へ接続いただきますようお願いいたします。詳しくは、下水道整備課にお尋ねください。

町名	供用開始地区
峰山町	旧町・安・長岡・新町・荒山・内記・丹波・矢田赤坂・菅
大宮町	口大野・三坂・周枳・河辺・三重・森本
網野町	浜詰・塩江・木津
丹後町	間人・大山・三宅・徳光・成願寺
弥栄町	吉沢・芋野・堤・溝谷・外村・等楽寺・舟木・黒部小田・国久・井辺・鳥取・木橋・和田野
久美浜町	一区・三分・平田・甲山・浦明・長柄・神崎・鹿野箱石・葛野・湊宮・大向

### ● 下水道接続に関するお問い合わせ先

上下水道部下水道整備課 ☎ 69-0550  
Eメールアドレス gesuido@city.kyotango.kyoto.jp

### ● 下水道使用料に関するお問い合わせ先

上下水道部普及推進・料金課 ☎ 69-0540  
Eメールアドレス fukyu@city.kyotango.kyoto.jp



開園を祝い、苗木に土を盛るセレモニー  
(左・小石原将夫園長、中央奥・あしかがフラワーパークの塚本こなみ園長)

# 全国初 藤布の原料としてフジ栽培 衣のまほろば 藤の郷 開園

ベンチャーアミノ21 藤の郷

万葉集にも詠(うた) われるほど、古くから日本各地で織られていた「藤布」。その技術の継承と、原料となる繊維の採取のためのフジ栽培が、ベンチャーアミノ21・藤の郷(小石原将夫園長)によって日本で初めて行われることとなりました。約五〇〇平方メートルのフジ棚を網野町網野地内に整備し、「衣(きぬ)のまほろば 藤の郷」と命名。十一月二十八日にはアミティ丹後(網野町網野)で、開園記念植樹祭が行われました。

フジは、マメ科でつる性の落葉木本で、茎は成長すると木質化し、年月とともに太くなります。藤布は、このフジのつるからとれる繊維でつくられ、摩擦や熱に強く、その割りにしなやかな肌触りが特徴の、日本古来の織物です。しかし藤布は、完成するまでの過程でたいへんな労力と時間、熟練の

技術が必要となることや木綿の普及などにより衰退。その紡織技術は、丹後地方で伝承されてきたものの近年の山林の荒廃化により、原料となる良質のフジの入手が困難になってきていることからです。

そのためベンチャーアミノ21・藤の郷では、丹後に受け継がれる藤織りの技法を継承するとともに、新たな産業や観光資源として活用するため、良質な繊維を安定的に確保することを目的に、府の「地域力再生プロジェクト支援事業」を活用し、フジの栽培に着手。「藤の郷」に植えられる苗木は九十六本で、三年〜四年後には繊維を採取できるようになるということです。

「藤の郷」で予定されていた植樹祭は、あいにくの空模様のために屋内で実施。参加した小学生や高校生などが、植木鉢に苗木をさして土を盛るセレモニーも行われ、開園を祝いました。

ベンチャーアミノ21・藤の郷では、繊維の採取から藤布を織るまでの作業を行う体験講座の実施をはじめ、あしかがフラワーパーク(栃木県足利市・塚本こなみ園長)から観賞用の大藤を譲り受けることも予定されているなど、「藤の郷」は、本市の新たな魅力の一つとして期待されます。



藤織り

## 人口・世帯数

男	29,975人 (-22)
女	31,988人 (-19)
計	61,963人 (-41)
世帯数	22,155世帯 (+3)
(12月1日現在・()内は前月比)	

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報広聴課  
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889  
☎0772-69-0110 FAX.0772-69-0901  
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>  
E-mail [hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp](mailto:hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp)